

今号の主な記事

- 2面 安全安心まちづくり
- 3面 地域福祉計画改定への意見募集
- 4面 年女・年男

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

福生の顔・市役所庁舎

生まれ変わります！

現在の庁舎は

昭和38年度に当時としては大きく立派な庁舎として建設されました。しかしながら、その後の人口の増加、昭和45年の市制施行などにより行政事務量や職員数が増加し、庁舎が年々手狭となったため、事務効率や市民サービスの低下を招くこととなりました。

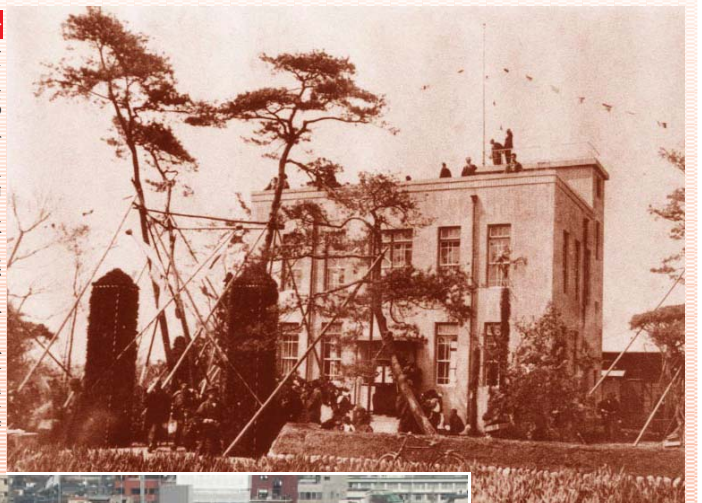
第三庁舎の建設、本庁舎1階部分を増床、旧健康センターを第四庁舎として使用するなど拡張、分散化を繰り返し対応してきましたが、建物の老朽化、手狭な状況はますます進み、窓口の分散化やエレベーターがないなど、市民サービスへの支障や事務効率の低下は年々拍車がかかっています。

また、平成7年度に行った耐震構造調査では、本庁舎は耐震性が低く耐震補強が必要との指摘がされましたが、補強工事は多額の費用がかかることなどから困難な状況であり、現在の市庁舎は災害時の市民の安全確保ができず、市民が利用するうえでの利便性を欠く不十分な状況となっています。さらに、行政需要は多様化しており、これらの課題への対応も現在の庁舎では困難な状況です。

現庁舎完成時に作成されたパンフレット



大正15年に福生村熊川村組合役場として建設された旧庁舎



現在の庁舎。庁舎の分散化や耐震性など、さまざまな問題を抱え、早急に建替えを必要としています。



そして新庁舎へ

新庁舎の模型。2棟の庁舎の間には、誰でも自由に使うことのできる広場が設けられます。



完成は平成20年!

災害時における防災拠点の整備や市民の安全の確保、地方分権や市民参加型市政の実現など新たな行政サービスへの対応は早急に取り組まなければならない課題であり、そのための庁舎建設が必要となっています。いうまでもなく、庁舎建設は市にとっては大事業であるとともに、市民にとっても最も密接に関わりの大きい事業であり、市民の理解、参加がなくては実現は困難です。

市議会の庁舎建設特別委員会、市民検討委員会で、さまざまな検討が行われ、策定された「新庁舎建設基本計画」等に基づき、新庁舎は現在建設中です。一期工事は今年の3月に完成し、4月から業務を開始する予定です。組織改正により「総合窓口課」を新設し、市民の皆さんにとって利用しやすく、親しみやすい庁舎として生まれ変わります。



市長 野澤久人

新年を迎えて
平成十九年元旦

新しい年が始まりました。おめでとうございます。

庁舎、拝島駅、福生病院などの事業のうち、庁舎は今年度中、拝島駅は今年8月に使えるようになり（南口だけは仮設階段）、完成は平成20年度中の予定です。福生病院は、平成20年9月仮オープンし（ほとんどの施設は使えるようになります）、その後平成21年には完成します。

いずれも防災や環境に配慮し、皆さんに使いやすく、後年度負担を最小にできるようにしながら完成を目指します。

また、このところさまざまな形で制度の改正が行われています。税制、福祉、保険、医療など、都の制度改正で市行政の内容も大きく変わっていきます。皆さんのところにきちんと情報が届いているでしょうか。法律の改正は知らなかったと言っても、自己責任になります。

市では、広報、ホームページ、出前講座などを利用して可能な限り情報を提供していきます。

どうかお互いに教えあって、正確な情報を持っていただきたいと思います。わからないことは市役所にご相談ください。